



2019年10月29日

各 位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス  
(コード番号1445 TOKYO PRO Market)  
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛  
問 合 せ 先 管理部部長 丹羽 直樹  
T E L 0572-56-1212  
U R L <http://www.h-holdings.jp>

### 2019年8月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年4月15日に公表しました2019年8月期(2018年9月1日～2019年8月31日)の業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせ致します。

#### 記

#### 1. 2019年8月期通期連結業績予想数値の修正(2018年9月1日～2019年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,668	百万円 39	百万円 52	百万円 34	円 銭 131.49
今回実績(B)	2,180	26	25	22	86.05
増減額(B-A)	512	△13	△26	△11	
増減率(%)	30.7	△33.8	△50.7	△34.6	
(ご参考)前期実績 (平成29年8月期)	1,681	12	△6	△52	△211.32

#### 2. 修正の理由

売上高は当連結会計年度において2,180百万円となり、前年対比29.7%の進展を致しまし

た。タイル工事業を営む(株)セラミックワンの発行済株式 100%を取得し、みなし取得日を 2019 年 2 月 28 日として連結子会社としたことや、(株)トライ及び(株)ネットの電気通信工事業が堅調に推移したことが売上高増加に大きく寄与しました。一方、利益面においては、営業利益 26 百万円（前年同期比 115.7%増加）、経常利益 25 百万円（前年同期は経常損失 6 百万円）と前年同期比で収益性が改善したものの、業績予想数値に対しては未達となりました。(株)セラミックワンの連結子会社化に伴い、当連結会計年度よりタイル・石材建築工事業を開始したことにより利益が増加し、また、建材卸売事業において、より利益性の高い商品仕入を促進したことに伴い損失が減少しましたが、一方で主力事業のタイル・石材加工販売事業において、新工場稼働等に伴い経費が増加し、また、電気通信工事業において、営業拠点開設費用が増加したこと等により、連結グループ全体としては利益目標未達となったものです。

以 上